



ラーチャブルック ร่ำพฤษภ

※「ラーチャブルック」はタイを代表する花、ゴールデンシャワーをタイ語で表現したものです。

校長 谷口 幸一郎 合唱祭

中学部の合唱祭が行われました。7年生から始まって9年生。そしてユニークだったのが、**色別での団対抗**の合唱祭でした。また、最後には全団で同じ曲「**正解**」を歌いました。

昨年度は、学級の場合、個々が各パートを歌ったものを動画に撮って、それを編集することで一つの合唱を作



り上げるという、とても労力と時間のかかるものでした。もちろん、講評も動画配信で行うという形態でした。今回は、子供たちがオンサイトで声を合わせながら作り上げていく、通常のやり方だったため、学級によっては、なかなか心が一つにならなかったり、仲たがいをしたりすることもあったようです。ただ、発表の時にはどのクラスも一致団結した様子がとてもよく伝わってきました。特に団対抗の合唱はもちろん、最後に**中学部全員で歌った「正解」**は胸がジーンとくるような出来栄でした。

けが マップ

小中保健室前に学校内の地図が貼ってあります。これには、子供たちがどこでけがをしたのか、その場所にポイントが付けられています。



小学部の傾向として、**教室**でのけがが一番多いよう

です。その他にも **②廊下 ③校庭等 ④プール ⑤図工室、体育館** と続きます。

元気よく、跳んだり、走ったりする元気な子供が多いのはいいことですが、「**こんなことをしたら・・・**」という**危険を回避する力**を身に付けさせてあげたいものです。

今後、児童・生徒会の**保健委員会**から「けがマップ」全体のまとめが出てくると思います。これをもとに**全校朝会等で報告し、注意喚起**を行う予定です。

感染症について

先々週の金曜日に、長崎大学熱帯医学研究所 **有吉紅也教授**の講演会が「**在タイ者が注意すべき感染症**」と題して行われました。先生自身、イギリスやジンバブエ、そしてタイで働いた経験があり、感染症については日本でも有数の専門医です。また、先生は講演の中でタイに在住期間に自身のお子さんに受けさせた予防接種が**①A**



型肝炎 ②狂犬病 ③流行性髄膜炎 だったことや感染症対策で大切なことが**①ワクチン ②感染症に対する正しい知識と感染回避行動** であるとも話されていました。タイも外国なので、日本とは違う環境にあることを再認識してほしいとのことでした。

ペットボトル回収

総合的な学習の時間の課題「**環境**」の一環として、子

供たちがペットボトルのリサイクルを考えました。もともとは、令和2年末に中学部で取り組もうとしていた活動でしたが、コロナ禍によりなかなか前に進んでいませんでした。今年になり、学級単位で取り組む状況も見られたことから、児童会・生徒会も**本格的にペットボトル回収**に乗り出しました。

子供たちが集めたペットボトルが再生され、様々な物へ再利用できることを子供たちに実感してもらいたいと考えています。この取組は、実はタイ政府の施策の一つでもあり、本校では三菱商事さんが協力してくれています。具体的にはペットボトルを圧縮する機械を学校に入れてくれました。ペットボトルが集まったら、その回収作業もしてくれる予定になっています。

今後、学校の取組をまとめたものを、現地校との交流の際に紹介することで、タイの学校でペットボトルリサイクル活動が始まってくれることを望んでいます。そして、この活動がタイの学校に広がることで、**子供のリサイクル意識が高まり、ひいてはこの活動がタイ国全土に広がってくれることを期待**しています。結果、タイのごみ問題が少しでも解決の方に向かってくれるものと信じています。

多くの方が学校に協力してくれています

西野朗 前サッカーワールドカップ日本代表監督来校

サッカーワールドカップカタール大会のメンバーが発表されたところですが、4年前のロシア大会の監督だった西野朗氏が中学生対象に特別講演を行ってくれました。



講演の中で **①子供の頃の夢を** 持ち続けること **②失敗を恐れず** に挑戦し続けること の大切さを話してくれました。その後、サッカーをしている子供たちと舞台上でパスを行ったり、リフティングを見せてくれたりしました。また、子供たちに対して、サッカーボールを寄贈してくれました。サインは入っていますが、サインが消えるくらいサッカーボールを使ってほしいとのことでした。「**ボールがダメになったら、また、持ってきます。**」と言ってくれましたので、ありがたかったです。ちなみ

に西野さんのサイン入り色紙は中学部棟と小学部1号棟に飾ってあります。

虫よけクリームをいただきました

花王さんとドン・キホーテさんが、子供たちに虫よけのクリーム「**ビオレ ガード**」を子供たち全員に寄贈してくれました。 Deng 熱等が流行っている今、このクリームを使って病気予防に使ってほしいそうです。



タイで学んだことは？

先日、BTSを利用していた時のこと、日本人の4人家族がある駅から電車に乗ってきました。シートに座っていたタイ人の女性が、その日本人の小学生らしき男の子に席を譲ってくれました。席を譲ってもらった男の子はすぐに座りました。「**コップン、カップ**」の一言が言えないままに。さらに残念なことは、それを見ていた両親も子供にお礼を言うことをさせず、自らも何も言いませんでした。しばらくすると、その男の子は席を立ち、兄弟で車内のつり革や支柱を鉄棒のようにして遊び始めました。結局、譲られた席は空いたままで、その家族はトンロー駅で降りて行きました。別の客がその席に座り、席を譲った女性は次の駅でやっと他の席に座ることができました。**彼女はこの日本人家族をどう見たのでしょうか。**外国での私たちの行動は、日本人を代表する行動になってしまいます。

タイには様々な文化や習慣があります。日本とは違った習慣に戸惑うこともあるかもしれませんが、その場面ごとに日本人として**どのような振る舞いをすべきなのか**をもう一度考える、あるいは子供たちに考えさせるいい機会になるのではないのでしょうか。

私たちはこの国に住まわせてもらっていることを常に念頭に置いておかなければなりません。ここは日本とは違う国です。タイでの生活が終わり、日本に帰った時、「**タイで学んだことは？**」と尋ねられたら、何と答えますか。自らの行動も変えていけるような学びをしてほしいと思います。